



いわた じょうじ
岩田 譲治

質
問
QUESTION

「給食は教育」
その認識は？

回
答
ANSWER

より工夫した楽しい給
食時間を目指します

「教育長」

質問

6月は食育月間
です。

一般的に食育という
と、学校で健康と栄養
に関わる話を聞いたり、
稲作・いも掘り体験、
生産者の話を聞くなど、
狭い意味で捉えられて
いることが多いように
です。もっと広い意味で
の食育を目指すことが、
本来の目的だと思いま
す。例えば、過度のダ
イエットの危険性、朝

食抜き弊害、肥満、
食糧問題、環境問題な
ど。

今回は学校での食育
についてお尋ねします。
学校給食は45分間程
この中で配膳、食事、
後片づけ、先生のお話
など、余裕をもって楽
しく食べる時間がある
のでしょうか？給食時
間だけでなく、教科と
して食育の時間も少な
く、学校給食法という
「給食は教育」には程
遠いもののように思い
ますが。

また、食育を指導す
る先生は、県から派遣
された栄養教諭と栄養
職員の2人ですが、こ
れで十分「教育」がで
きるのでしょうか？
一方、この食育につ
いての指導書はなく、
担当者が、教材を作り
対応しています。実践
研究の情報不足、マン
ネリ化が心配です。

これで「教育」とい
えるのでしょうか？

回答

学校給食は、バ
ランスのとれた
栄養源だけでなく、食
事・食生活に関心をもち、望ましい食習慣を
身につけ、生涯にわた
り健康な生活をするた
めの重要な場と認識し
ています。

【楽しく食べる時間
の確保】

担任の先生は、「配
膳」・「後片づけ」時間
の短縮に努め、「楽し
い食事時間」を十分確
保できるよう指導して
います。

食事の遅い子、早い
子への配慮もし、おほ
むね「楽しい食事時間」
は確保されていると聞
いています。

【食の指導内容と現
状】

栄養教諭と栄養職員
は、毎日順番に学校を
回って校内放送や教室



メニュー豊富な給食に舌つづみを打つ児童たち（名森小学校）

で、給食指導、紹介を
しています。一方、学
校の給食主任は、年度
始めに全員の先生に、
「手洗い・配膳等の進
め方」、アレルギー等
の「給食管理」、「教科・
道徳・特別活動との関
連」などの全体計画書
を作成し、理解を図っ
ています。また、家庭
科の時間には年20時間
食に関する授業があり
ます。学級活動の時間
には「朝食と運動」、

学年集会では「朝ご飯
の大切さ」などを考え
る指導をしています。
また、毎日の「給食」
時間には「旬の食材・
地元食材」「配膳・片
づけ」のルールなど、
望ましい食習慣を育成
しています。献立も「国
際食」「行事食」「郷土
食」「セレクト食」な
ど工夫しています。